

## 農家のおじさんの話

米作りで特に大変なことは、田植えまで時期が短く忙しいということです。昭和村は雪どけが遅いので5月の田植えまで仕事が集中しているのです。また、水も冷たいので川の水をいったんビニールホースに通し、ぬるませてから田んぼに引くようにしています。

でも、一番気がかりなのは天気です。涼しすぎる夏だったり、雨が多かったりすると稲が病気になりやすくなるからです。



昭和村では、まだ多くの方が農業をしていますが、農家の戸数は少しずつ減ってきています。

農業をする人が減ってきたということは、農業をする人に、年をとった人が多くなったことや、新しく農業をしようとする人がほとんどいなくなってきたことがあげられます。今後の農業は、若い人の力にかかっているといえるでしょう。

一方、米作りだけの農家から米と花などを組み合わせたり、花だけを作る農家が多くなってきました。また、農業をしながら会社などにつとめる人も多くなってきています。

農家戸数の変化(農林業センサス)

